

流域1万人だより 071～080

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

071. 味坂校区公民館(小郡市味坂校区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.11.13)
072. 川原町公民館(日田市隈・竹田地区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.11.16)
073. JAにじ川会支所(田主丸町川会地区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.11.17)
074. JAにじ竹野支所(田主丸町竹野地区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.11.18)
075. 船越多目的集会所(田主丸町船越地区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.11.18)
076. 光岡公民館(日田市光岡地区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.11.19)
077. 城町2丁目公民館(日田市豆田地区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.11.22)
078. 日ノ隈公民館(日田市日ノ隈地区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.11.24)
079. あすてらす(小郡市御原校区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.11.25)
080. 筑後川河川事務所日田出張所(日田市)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.11.25)

流域 1 万人だより VOL. 71

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

11月13日(土)に味坂校区公民館(小都市味坂校区)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、20名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	小都市
1. 代表者懇談会	
②. 住民懇談会	
出席者	
国	6
県	1
市	2
住 民	20

主な意見

【昔の筑後川の思い出】

昔の宝満川、筑後川は水が飲めるくらいきれいで砂浜もあった。いつも泳いで遊んでいた。護岸については魚が生息しやすいように蛇籠を用いた整備を行ってはどうか。

【治水対策について】

宝満川の計画はどのように進めて行くのか。

(治水対策の計画は、過去の一番大きな洪水を安全に流下させることを目標としており、この味坂校区の堤防は既に完成している。また、平成9年の河川法改正を受け、治水対策はもとより、今後の環境保全や管理・利用についてもみなさんと考えていきたい。)

宝満山に降雨があった場合、昔は1時間ぐらいで水位が上昇したが、今では40分ぐらいで増水するようになった。山地の開発が進んだこともその一因だと思うが、今後は山地も含めた対策を考えていかなければならない。

上石井堰があるが、今はもう取水していないので早く撤去して欲しい。また、上石井堰の水位が上昇すると樋管を閉めるので、堤防下を流れる水路で、水を吐き出すことができない。

【環境について】

街づくり推進委員会の中で、街づくりの一環として端間～味坂の間をコスモス街道にできないものかという意見が出ている。検討してもらいたい。

宝満川で魚という観光資源を元に、市の観光協会でフナ釣り大会など開催してはどうか。また、川を公園のように整備して、子どもたちが水遊びができるような環境にしてほしい。

【管理について】

堰があるために樋管の管理が大変である。下流で雨が降っていなくても、上流が雨であれば水位が上昇するため樋管を閉めなければならない。将来のことを考えてコンピューターで管理できるようにしてもらいたい。

毎年2～3回、堤防点検のために除草を行っているようだが、そのコストを考えると管理のいらぬしっかりとした堤防を造っていくほうが良いと思う。

不法投棄の看板の言葉はもう少し厳しい表現にしてほしい。

階段にチェーンが張ってあり人が降りられない箇所もあるので、親水性を持たせるためには外してほしい。

住民懇談会の様子



流域1万人だより VOL.72

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

11月16日(火)に川原町公民館(日田市隈・竹田地区)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、13名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	日田市
-----	-----

1. 代表者懇談会

②. 住民懇談会

出席者	
-----	--

国	8
---	---

県	-
---	---

市	2
---	---

住民	13
----	----

主な意見

【昔の筑後川の思い出】

昔イカダが下る頃は、川霧の中からイカダが見えて風情があった。朝霧が多かったのは水がきれいだったからだ。昔の川を知っている人はわかるが、昔は葦がなく、春には岸辺にレンゲやすみれが咲き、夏になると浅瀬で水遊びをしていた。また、秋には山で切った木を全部川に流していた。川の中の木はたいへん見苦しい。昔は久留米の善導寺あたりまでヨシがなく、川辺に近づきやすい状況だった。しかし、今ではヨシが繁茂してしまい近づくこともできない。

【災害時の記憶】

昭和28年6月25日の夜に床上浸水をし、26日の午前10時に家が流れてしまった。しかし、現在は松原・下笠ダムの効果もあり、出水時に水が堤防を越えることはない。昭和28年水害の際に水位が上昇したのは、夜明ダムのゲートが開かなかったこと、流木が水の流れを阻害したことなども原因として考えられる。

【環境について】

島内堰と三隈堰があるために水質は悪いし透明度もない。堰がなければ水位が保てないことは理解しているが、将来的には堰をなくし、もっと流量を増やすことを考えてはどうか。三隈川(固定堰)の上流部分は、污泥が堆積してしまっている。何らかのかたちで改修するべきだと思う。生活排水や上流部での温泉ブームによる露天風呂の増加などで、汚水が大山川、玖珠川に流入して下流の筑後川にも影響を与えている。観光客が三隈川(筑後川)は汚いとよく言う。なにか良い処理方法はないものか。

【管理について】

庄手川の亀山橋を撤去して、下流に新しい橋を架ける計画があるが、地域住民としては生活が不便になるので、現在の橋を架け替える方向で検討してほしい。どうしても草があるとゴミ捨て場になってしまう。草刈りは年に2回行われているが、まずは足元のゴミ捨て場になっているような場所を整備してほしい。

【その他】

先日、市内と郡の小学生の生徒に川に関心を持ってもらおうと思い、筑後川を調べて意見を出してもらおう話し合いを行った。この活動に限らず、我々は要望を言うかわりに、自分たちでできることはやろうと思っている。

住民懇談会の様子



流域 1 万人だより VOL. 73

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

11月17日(水)にJAにじ川会支所(田主丸町川会地区)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、53名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名 田主丸町

1. 代表者懇談会

②. 住民懇談会

出席者

国	8
県	-
市	2
住民	53

主な意見

【昔の筑後川の思い出】

昭和28年水害の時、濁った水が西から東へ流れており、これはおかしいと思ったがどうすることもできなかった。唐島地区の堤防が破堤し洪水となり、上流からの流木が流れていた。とにかくひどい状況だった。

昔の護岸は石垣などで造られていたが、今ではコンクリートの護岸ばかりである。もう、なじみのある魚はいなくなってしまった。

昔は筑後川と巨瀬川の水を飲んでいた。今では川が汚れてしまい泳ぐこともできない。魚も棲みにくくなっている。将来は人間が住めなくなってしまうのではないか。

【環境対策について】

魚はいるが、釣った魚を誰も食べようとしない。水質の悪さも影響していると思う。また、最近では水量も少なくなったように感じる。水質確保、水量確保をしていかなければならない。

先日、巨瀬川の堤防の除草をしてもらってきれいになったが、問題は川の中である。川岸の柳等の木のある箇所(江口橋付近)でゴミが引っ掛かり、水が流れなくなっている。草を刈るのも大切だが、不要な木々を切ることも大切だと思う。

巨瀬川の堤防をコンクリートではなく蛇籠を用いて表面を砂や砂利で覆うようにすると、魚が棲みやすくなり、景観としても良くなる。自然に配慮した工法を取ってほしい。

巨瀬川も昔は曲線であったと思うが、曲がったところには州浜といってジャリの浜があり、そこに入れる道もあったため子どもたちがよく遊んでいた。今は川に近づける状況ではないため、川に近づきやすい工夫をしてほしい。

将来にむけての計画として、河川公園の整備をお願いしたい。

【その他】

こういう話を住民と行政がおこなっても、結果的には予算がないということで意見がつぶされてしまうことがある。そのようなことがないように、住民の意見も十分に取り入れた計画を策定してほしい。

住民懇談会の様子



流域1万人だより VOL.74

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

11月18日(木)にJAにじ竹野支所(田主丸町竹野地区)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、49名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名 田主丸町

1. 代表者懇談会

②. 住民懇談会

出席者	
国	7
県	-
市	2
住民	49

主な意見

【治水対策について】

小さな河川では、少しの雨で水が溢れてしまう。昔は田畑だったが宅地化が進み、一気に水が流れるようになってきているように思う。川幅を広げるだけではなく、支川の河川が急激に流れないような河川改修をお願いしたい。

【環境について】

最近の河川工事は三面張りコンクリートが多く利用されているが、環境に配慮した工事を行って、魚の住める人を癒すような河川工事を行ってほしい。三面張りにしてしまうと、流速が早くなり、湯水期には干上がってしまう。

巨瀬川と筑後川の水は汚れている。その原因は、人口の増加や、生活様式の変化に伴う排水の悪化、上流のダム等によるものだと思うが、どうしたらきれいになるかを考えると、下水道の整備や浄化施設の設置を行い、国や県から地域住民へ呼びかけをするなどしなければ、根本的な水の汚れはなくなるだろう。

冷水川は、巨瀬川との合流点に2mほど段差がある。今後、竹野地区は圃場整備事業が行われるので、河川工事を行うのであれば、段差のない魚ののぼりやすい川づくりを行ってほしい。

【管理について】

巨瀬川の支川の草刈は、今まで地域で管理しており、100mも草刈をしなければならない人もいる。住民が高齢化していく将来のことを考えると、草刈のできない人も出てくるので、行政区分に関係なく管理してほしい。草が生い茂るとゴミ捨て場となってしまう、筑後川水系の水も汚染されてしまう。これを防ぐためには環境の美化が不可欠であるので、除草等に今後も力をそそいでほしい。

筑後川には広い堤防があるので、小段等を整備して広い堤防道路を造り、巨瀬川も改修工事が進んでいるようだが、道路整備もあわせて行い堤防を有効利用する整備を検討してほしい。

住民懇談会の様子



流域1万人だより VOL.75

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

11月18日(木)に船越多目的集会所(田主丸町船越地区)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、20名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	田主丸町
-----	------

1. 代表者懇談会

②. 住民懇談会

出席者	
国	8
県	-
市	2
住民	20

主な意見

【昔の筑後川の思い出】

昔は川で泳いでいたし、水を飲むこともできた。巨瀬川の水量も昔に比べると3分の1程度になってしまった。

【環境について】

美津留川(県管理)の水質が悪く、冬になると悪臭がすることさえある。小学生が水質検査に取り組んでいるし、ホタルを育てる会を作ってホタルを飛ばす計画をしてはいるものの、水が汚く幼虫を放流してもなかなか育たない。一昨年はホタルが飛んだが、数年後にはホタルはいなくなってしまう。

筑後川は、危険だというイメージがあるので小さい子どもは遠ざけている。小さい子どもが安全に楽しめる場所を整備してほしい。

田主丸周辺にも親水公園を造ってほしい。その際には、魚とふれあうことのできる施設も設けてほしい。昔は護岸が石垣でできており、その隙間に魚の隠れ場所があった。

【管理について】

堤防道路は、休日は観光道路として、平日は産業用の道路にも利用すればどうか。それによって様々な設備を設け、人が集まるようになれば経済的効果がある。

巨瀬川の川中の柳が大きくなっている。(工業団地付近)、せっきく河川の整備も行われているので、樹木についても管理をお願いしたい。

地元には不法投棄の監視パトロールを有償で委託してはどうか。老人会等に委託すれば、新しい仕事が生まれて良いと思う。

朝羽大橋の周辺は昔から良い水遊び場であり、今でも子どもを連れて行くには良い場所だ。しかし、最近はモトクロス(バイク)の練習を行っていて近づきにくい。

(河川敷は自由使用してよいものの、堤防を傷つけたり、川を汚したり、騒音がひどいということになれば、指導を行う。久留米では水面利用に関する協議会を立ち上げる予定。)

【その他】

筑後川流域の林業は、県境界や省庁間での連携がとれていないようだ。筑後川や耳納連山をもっと経済資源として見てほしい。また、堤防道路整備が十分ではないので広域化し、河川の利用についても一般の方が自由に利用できる区域を設定することができれば、新しい産業ができるのではないかと。

住民懇談会の様子





流域 1 万人だより VOL. 76

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

11月19日(金)に光岡公民館(日田市光岡地区)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	日田市
-----	-----

1. 代表者懇談会
②. 住民懇談会

出席者	
国	8
県	2
市	2
住民	5

『今日の一言』
川沿いを歩くと非常に気持ちがいい！

主な意見

【昔の筑後川の思い出】

昔は、川に多くのホタルが生息し、ホタルが舞う美しい光景があった。現在では姿を目にする機会もなくなったが、今年も、三郎橋付近でホタルを一匹確認した。下水道の整備などにより水質が改善されてきたこともあり、ホタルが棲める川に戻りつつあるのかも知れない。
うずのこ(ヨシノボリ)・メダカ・ナマズは昔に比べるとかなり減ってしまった。カマツカはだいぶ数が増えてきていると思う。

【環境について】

下水道の整備も進んできて水質はきれいになっているが、ゴミは非常に多く、中でもビニール類があると川が汚く見えてしまう。
散歩をする者から言わせて頂くと、車の往来の少ない安全な散歩できる道が少なくなっていると思う。川沿いを歩くと非常に気持ちが良い。川を見ながら歩ける散策路の整備をお願いしたい。
川を美しくするといっても、悪い菌が全くいない水にしてほしいということではなく、川中の石にコケが付き、それを魚が食べるといった自然の川にしてほしい。立派な堤防を整備してもらい治水での安心感はあるが、自然との折り合いが重要だと思う。

【管理について】

毎年祭っている”大明神の岩”というのがある。(昔、この岩のおかげで人が助かったことがある)そこまで遊歩道を整備して皆が行けるようにしてもらいたい。
川でイベントする場合など、自分たちで河原に生い茂っているヨシを刈ってよいのか。
(地元で草を刈っていただけるのは非常にありがたい話です。作業中のけが等の可能性もあるため、アダプト制度を活用してほしい。)
アダプト制度...河川愛護、美化意識の高揚をはかるため、ボランティア活動に意欲のある団体等に「里親」となってもらい、河川等の公共区域の一部を「養子(アダプト)」にみたと、清掃美化活動をしてもらう制度。

住民懇談会の様子





流域 1 万人だより VOL. 77

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

11月22日(月)に城町2丁目公民館(日田市豆田地区)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、14名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	日田市
1. 代表者懇談会	
②. 住民懇談会	
出席者	
国	7
県	-
市	2
住民	14

主な意見

【昔の筑後川の思い出】

昔は城内川で泳いでいた。泳ぎの能力により先輩が指導しながら泳いでいた。また、子どもたちの間で上下関係があって、年上の者が泳ぐ場所を決めていた。
 昔は一新橋から城町橋の左岸側に桜並木があった。堤防沿いに桜を植えると花月川も美しくなる。
 子どもが川に行かなくなったから、川を利用する行事もなくなってしまった。昔は子どもが川で泳ぐ時期にはおとな達が”さるまんじゅう”を作ったものだ。

【治水対策について】

城町橋から上流部(上手第一樋管)の水衝部を護岸やテトラポットで補強してもらったが、対岸部の公園が浸食されているようなので、自然石で固める等の対策をしてもらいたい。
 昔に比べて水量が減ってしまった。また、山地の保水能力がなくなったため、降った雨が川に流れ込み一気に増水し、またすぐに減水してしまう。
 夕田橋の右岸側をブロックで改修している。昔の災害復旧の場合は自然石によって復旧工事を行っていたが、改修でも自然石を使ってはどうか。

【環境について】

昔は魚がたくさんいたが、今ではめっきり減ってしまった。魚の棲みやすい川づくりを行い、魚が川に戻れば子どもたちも川で遊ぶようになると思う。
 一新橋と御幸橋の間は浅くなっているが、昔は木工沈床があって水深も深く魚がたくさん生息していた。現在、川にいる魚はハヤ・イダ程度である。昔は、ハゼ、アカバチ、ギユウギユウ、ウナギ、シマドジョウ、ゴリ、ガザメ等がいた。できるだけ昔の川の姿を取り戻せるような工夫をしてほしい。
 花月川はヨシの繁茂する川ではなかった。上流部から流れてくる汚泥が、ヨシの育ちやすい下地になってしまっていると思う。

住民懇談会の様子



流域 1 万人だより VOL. 78

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

11月24日(水)に日ノ隈公民館(日田市日ノ隈地区)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、21名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名 日田市

1. 代表者懇談会

2. 住民懇談会

出席者

国	10
県	-
市	2
住民	21

『今日の一言』

大人は今の子どもたちに昔の川を伝える義務がある！

主な意見

【昔の筑後川の思い出】

川を美しくしてほしいという希望がある。昭和30年代は筑後川の水を飲んでいた。昭和40年代から合成洗剤を使用するようになって汚くなってしまった。命の根源は水である。筑後川を全国的にも注目を浴びるような河川に戻してほしい。
昔は住民の生活に「川の水」はなくてはならないものだった。現在では川に関心を持つ人も少なくなってしまった。これからは関心が持てる川づくりを行ってほしい。

【環境について】

大人は今の子どもたちに昔の川を伝える義務がある。川で育ち、怖さも知り、命の大切さ、全てを川で学んだ。しかし子どもたちを川に近づけなくしてしまったのは大人である。川に子どもたちの遊ぶ場所を造ってほしい。庄手川を昔の河川に戻してほしい。昭和30年代に現在の形になり、玉川バイパスから下は流速が早くて危険であり、小・中学生が何度も流されている。ゆったりとした流れにイカダが浮かび、牛の放牧も行われていたような豊かな河川を危険水路にしてしまった。低水護岸を壊してでも川幅を広げ、大人も子どもも遊べる環境を取り戻してほしい。

【管理について】

昔に比べると川幅が2～3倍になっている。その結果、川が広いだけに水が流れない所がある。昔は梅雨と秋に大水が出て川がきれいに流れ、ゴミも流していた。川の水が流れていない箇所の対策をしてほしい。庄手川には堤防道路がないので、人が通れる程度の堤防道路を整備してほしい。また、消防用道路もないため、改修を行う際には浄免寺橋から亀川橋の間に、消防用車両が入れるような整備もお願いしたい。堤防から河川敷に降りていく坂路がない。川に近づきやすくするためには、人が降りやすい坂路を整備する必要がある。
除草の方法・回数等を考えてほしい。除草すればゴミを捨てる人が減り、川に親しめるようになるのではないかと。河川の水質の問題は、下水道整備と関係しており、今後の課題として、大山、天瀬を含めた広域下水道整備を行い、河川にはできるだけきれいな水を流すことを考えて行く必要がある。

【その他】

行政が悪いとかいうのではなく、まず自分が立ち上がるべきだと思う。地域住民が主導で川づくりを行い、その後、行政にバックアップしてほしい。

流域 1 万人だより VOL. 79

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

平成 16 年 11 月 25 日(木)にあすてらす(小郡市御原校区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、
14 名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	小郡市
1.	代表者懇談会
②	住民懇談会
出席者	
国	7 名
県	2 名
市	3 名
住民	14 名

主な意見

【昔の筑後川の思い出】

昔の宝満川は水が透き通るように美しく、端間橋の下が子どもたちの遊び場になっていた。また、昭和 30 年ごろから水が段々きたなくなってきた。

【昭和 28 年水害について】

端間橋は、今でも大雨が降ると越水する。二森地区は S28 年だけでなく S38 年に死人(7 人)まで出ている。S28 年の時、端間地区の堤防が切れて大崎地区に洪水が流れ込んだので、稲吉地区の方は助かった経緯がある。洪水時に備えて遊水地帯を確保することを検討してほしい。

【治水対策について】

水害は 50 年周期で起こっている。端間橋を作り替え、上西井堰を撤去して洪水が流れやすくしてほしい。昔は、この付近は水位が上がると漏水していた。水害のハザードマップを作成して、流域の住民に知ってもらおうと、災害に対する意識が高まると思う。筑後川の本川は、ある程度整備ができていると感じるが、支流はまだまだ危ないところが残っている。災害が起こってから対策を立てる事のないように、災害が起こる前に処置してもらいたい。

【環境整備について】

治水・利水対策は徐々に良くなっている。これからは環境対策に力を注いでもらいたい。散歩、ジョギング、サイクリング、自然観察、休息、子供たちの自然体験、バーベキュー、いろいろなイベントができるような整備を行えば、小郡に人が集まってくると思う。美しい環境を整えて、観光のシンボルとなるようなものを、宝満川流域に造ってほしい。

【河川利用について】

筑後地区、小郡地区は比較的水が豊富であり、夏場の水不足の時でも断水になることはめったにない。小郡市は、観光地も工業地もないので、宝満川をメインとして、「緑と豊かな水」のキャッチフレーズでまちづくりを起そうという意見がある。また、「まちづくり提言書」を市に提出している。

【その他】

昭和 30 年頃は、農家が牛や馬の飼料にするために草を刈っていたので堤防は非常に綺麗だった。ところが、農業の近代化により草刈が行われなくなり、堤防に草木が生い茂ってしまい、ゴミが捨てられてしまう。非常に残念でならない。

住民懇談会の様子



流域 1 万人だより VOL. 80

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

平成 16 年 11 月 25 日(木)に筑後川河川事務所日田出張所(日田市)

にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、

16 名の住民の方から活発な意見が出されました！！

(参加団体...日田の川を考える会、NPOひた水環境ネットワークセンター)

対象 日田市市民団体

1. 代表者懇談会

② 住民懇談会

出席者

国	9 名
県	- 名
市	2 名
住民	16 名

主な意見

【夜明ダムの撤去】

夜明ダムは、建設から 50 年経過しており、筑後川の環境悪化の原因にもなっている。今回の整備計画で見直しの検討をお願いしたい。

現状の夜明けダムは、治水、利水の機能はなく、発電量は柳又発電所の 5 分の 1 程度しか無いにもかかわらず、筑後川の河川機能を分断する最大の障害となっている。

夜明ダムを撤去したとしても、環境が変わってしまった後であるから、すぐに鮎は戻ってこない。漁協としては、夜明ダムのおかげで鮎が下流に行かないので夜明ダムがなくなると困る。

【日田の川づくり計画について】

庄手川が、あまりにも自然とかけ離れているため、多自然型の河川にして欲しい。

三隈堰(固定堰)の全面改修による一部可動化と遊び場としての堰づくり。

川岸や堤防に周遊できる遊歩道が欲しい。皆がどこからでも川に近づける施設にしたい。

【環境整備について】

国交省の水質基準から言えば水質は良好だが、日田の人が思っているきれいな水は、底が見えるような水だ。そのような水質に近づけて欲しい。

大山ダムが完成すれば赤石川は汚れてくるだろう。水質浄化装置や清流バイパスなどの施設整備をお願いしたい。川底にたまっているヘドロが、水質悪化の一因であり、三隈堰を可動化して堆積物を掃かせるべきだ。

水を綺麗にするため、沿川の九重・玖珠・小国・南小国・杖立・天瀬に下水施設を建設して欲しい。

【河川利用について】

平成 12 年に大山川の水量増加が実現し、河川環境が良くなった。今後も水量の検討を行う際には協力して欲しい人口の多い地域に水を持っていく傾向にある。下流域の利水を考える際に、上流域の発展を長い目で見た計画を立てて欲しい。

昔から日田では、福岡都市圏へ水を供給している事についてシビアな視点を持っている。都市機能分散、過疎対策の観点からも本気で考えるべきだ。

【その他】

水力発電は、原子力発電よりコストが高いが、コスト高でも地域住民が安全な水力発電を進めるべきではないか。

住民懇談会の様子

